

2025. 3. 25 あつめやさん 関を取り

2025. 3月
今年
卒業

13:00 芝宿 石井

~~あつめやさん~~

あつめやさん

岡田 真由美

前 瑞紀

加藤 あすか

加藤さん ビジュアルデザイン 4

岡田さん 彫刻 M2 (金美)

前さん 2021卒
(みずちゃん) 構想設計(院)

金沢で出会った。

前さんのどうだの知り合い。(同期)

島田さん(日本画)

と岡田さんも同期で

「芝宿」での集まりに

みずちゃんが来た。

「白い台座にものを置いたら

作品になる、と

なんなんだよ!

とか話した。 2018~2019
あたり。

その後

みずちゃんの
修了の作品展を

京都に見に来た

(正しくは)

小山田先生への院心で

京芸の作品展を見に来たら

みずちゃんかいた

「紙くすやさん」の頁

院に行く前の空白の1年 → 淡路島に行くとき来た

当時は漂着物を拾って集めていた

みずちゃんがおわじに遊びに来たり

→ その後京芸の院心を受けた

「レミピヤさん」 - みずちゃんがいそいそセンターで
やろうとしていた

→ 一緒にやろうとなった。

(2人と何かを集めていたから)

前さん: レミピ

岡田さん: 環境喜とかいろんな情報からできる

風景への院心(録音しながら散歩したり)

2人と何か集めてるし、何か一緒にやるかとなった。
2ユニットとかでもなく、
何かするときに「あつめやさん」と名前をつけただけ。

前土 お店を想定して、無人販売的な

→ いきいきセンターのセンター長には止められた
誰かいてほしい 吉田さん 無人は

前・岡田 いたくない(はず)とは)

→ 場に居てもう人募集した (B-LABOの関連で
→ いい人いるよ 展示をしていて、
「人と何かしたい」)

→ 吉田藤さん 参入

面接日に「ギョーザが好き」でOK

(しなくて
よかったです)
-た

岡田: ギョーザが好きか
きいていて、と
前土さんに聞いた。
(面接にいけなかったの?)

前・岡田 → 店長
加藤 → 店員 → 実は裏店長なのでは

↓ 二人とも
ごはんが好き。ソルさんのギョーザがおいしい。
金沢でも鍋をしながらうろついてた。

前・岡田の出会いの場
(パン) (ギョーザ)

井上製パン
が大好き

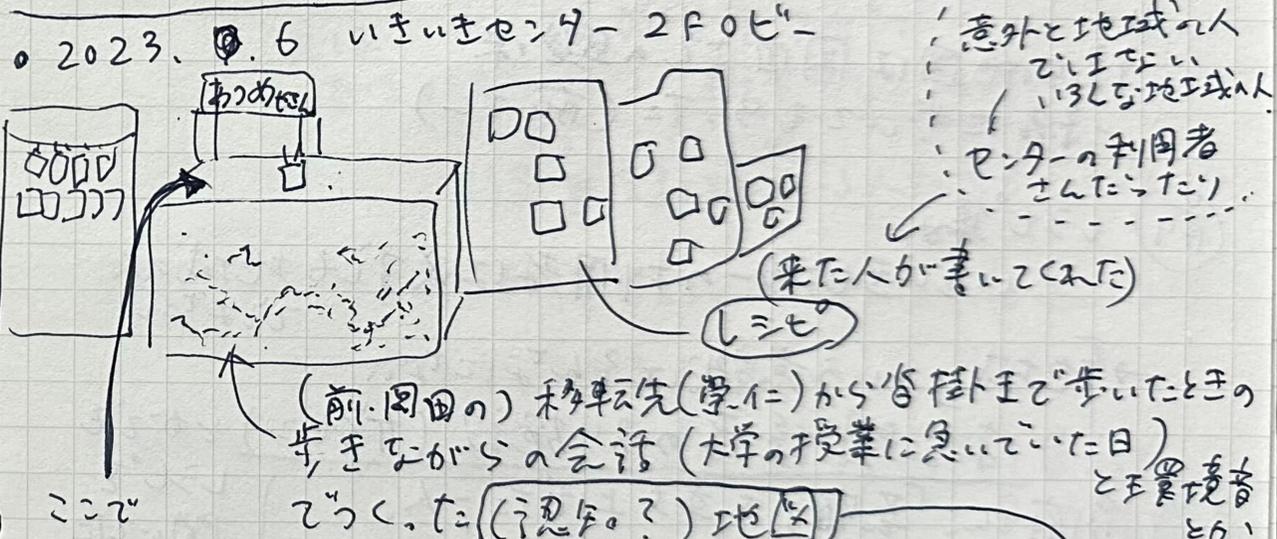
2023. 6月 (5月)に
3人が合法
「あつめやさん」がたんたん 単なる700円
でなく2ユニットのほうに
周りが目見えたり
こわれるように
なってきた
→ 集めては
集めては
集めては
集めては
集めては

おろとしモノの
写真をとって
してた。

「あつめやさん」 - 流動的
リテラシーがなくていき
今はない

系統は違う。何かつくろう。
という感じでもなく、なんか系統いちゃった

加藤: 2023年11月の移転時に
B-LABOで何かできれば、
夏におまっりのボランティアをしてリセシエ
のをきっかけに秋のイベントにつながって、
地域の人と関わりの中で予定が決まっていた。



ここで
リセシエ
かける
(机にならざる)

こうして(認知?) 地図
(来た人のおすすめスポットなど)
を書き足してもらう

2024の
1F00層で
展示したはず...
(2月目が5人のプロジェクト
だった)

岡田が保存?
またはいきせんに
あるかも?

ほか：連続的な活動

岡田：再開祭、移転

まだは、きりわかっていなかった
歩いてみたら、となった

前 → 土地のもの、食・人などから
土地を知ろう (いそべ先生など)
という
(いそべ先生の例、たけなへの興味)
人が住んでいるところへの興味

認知地図は岡田さんの興味
一歩先に歩いてもらった (前さん)

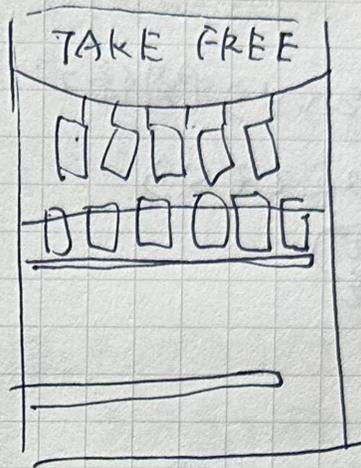
前 ししせ集め
いきいきセンターの利用者は必ずしも地域の人
ではない

→ 「地域」という意識はそんなにない
京芸関係者の別施設 (ガイセン) とかでも

- ・ 別府さん: 「芸宿」を立ち上げた一人。ししせを聞いた
- ・ コイワイさん 経由で京芸コミュニティーの人が集まるように
- ・ イワムラさん: 今日アトリエをつく、という
も最近はいらぬ。

・ あつめやさんの周りの様々なコミュニティー

前 当時は A5 の白紙の紙を持ち歩いて
あちこちで「ししせを教えてください」
と言っていた。



ししせ
その人のファースト
で書いておこう
がいい

加藤さん:
参加したときには (什器など)
ものはもうできてた
とにかく店員さん、場に立ち
活す役割

植物ペーパー

センターで当時働いていた職員さん
シュレッターにかけて紙と
植物とを混ぜて

元は
いきいきセンターの
テラスで
野菜の活動をしている人たちとつながっていた
紙をついていた

前・岡田: すべてがおもしろい。やりたかった (と思っただけ)

→ 今や、てしほはいい

センターの前、高瀬川沿いなどで植物を集めて
イトウキクヨさん } の人たちと共働
伊藤存さん } センターの紙と
混ぜた。
油画の人たち } ちやうど植物のことをついていた
が同時に活動していた

(「リポート」 - 地域について考えていい、など)

あげもち

センターの吉田さんの紹介で 吉田さんか
め. ちや おもちをもらう関係で
さいだん さん にあげもちを教えてもらう
おうちで
レシピを

ハ方ミシン
をくれた方 (鳥井)

(たぶんさん: 革新化修理)
つくって素材が家に
残ってる

加藤: B-LABO でその素材を
もらった

もちつき機

その後モ

(岡田) もちづくりを手伝った。
「こぼれで置くわん」
どこ

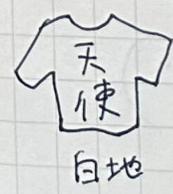
2023.6 七条中央サービス会の夏祭り

ヨ-ヨ-を永遠に繋ぎ止める
市場の地盤土の商店街

(近隣の小学校
の子たちが
お店に並ぶ)

(吉田さんの紹介)

「『天使』に会いに行こう」
サービス会



のTシャツ
を着た人 (会長)
がウェブサイトにのって
(サービス会の)

いまいきセンターの

「フォリスト」(あつめやさん、(みずちせんが元祖)
と呼ばれてた 鳥井さん
(1週間もせすに入ってるから)

・「フォーク」エゴミー (下京区のローカルグッドの中のグループ活動)
お弁当を持って、商店街のお店でお弁当を
箱 梅小路公園の人たちを 詰める。
商店街へ
などの活動をしている方々と吉田さんか既に知り合い
たこと。

和歌山はじめる土曜日 2023.

C地区とB地区の間の広場

「いまいき小さな芸術祭」

・かはらに多づけと値段をつける。など
・児童館の子たちも来てくれた。

・自分たちの持っているいざしや買ったものなどで
ぬいぐるみやかばんを作り。値段をつけ
たり
売ったり
「井上にさんさぶろう(ぬいぐるみ)」
↓
「高売する
売れない」
とす」と言われて
いた

加藤:
「必ずしも
言葉に
すれば
いいという
わけでもない
と気づいた」

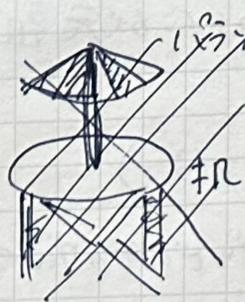
(前) くつかけの側溝に落ちたとき
に井上先生がくれた布
でできている

(加藤) 加

あつめやさんの活動の
資料と看板をくっつけてくれる

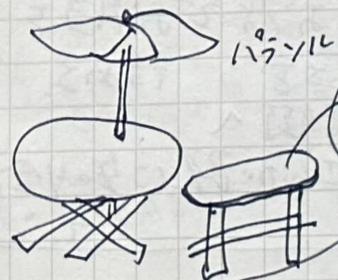
前・岡田のできないこと → 活動を言語化してまとめてくれる

いっせんローカルグッド?



・屋台づくり
「モバイル屋台」
・移動できる
・誰でも組み立てられる

中央区で
まっつんの
人たちと
大工の
ミヤサカ
さんの
ついでに
いっ...



園で
たおれる

岡田のスクー
加藤の園

屋台の作りかた - 大工さんかたスクー
もして来た
ミヤサカさん
空家の改修などをしてい
DJもしている
(2024.3)

スクー
として移動に
机の使い

「屋台を作りたい」

- ・下野さん
から話を聞いた
- ・大工のミヤサカさん
吉田さんの紹介

いっせんグッド
とどこまでつながったのか
覚えきれないなかな

2023.11

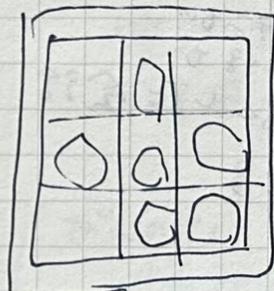
参加



「7m7m商店街」(出店)

- ・あつめやさん - 背負う「移動式屋台」
- ・高井さん
- ・ランニングエコノミー
- ・「よかどび」 - その人に合うなかとびを
売ったり、推し売ったり。

・おやつを
集めた (あちこちで
買ったり
もったり)



いのことちとか

商店街のイベントの
しきたりところなど
書いていって売られた
が、一ヶ月に
留まてやりたくない
とあった。

「あつめや
新聞」
No.1
「新報」を配りつつ
「ソーサくじ」

常に近くの10軒やさん
「つじい」 10軒がおいしい
(よくまじりの
か教えてくれた)

集めるのは
おやつとか
別のこと話
・季節
・背景
・歴史
などが
ついで



豚のたから
Y-ス入れをもらった



Y-ス入れ
Y-ス入れ
Y-ス入れ

「その日にかける
Y-スの量」
の書かれたおみくじ
が入っている
(いっせんセンターで書いた)
Y-スのかけ具合

「知らない人たはど
どこかにいる個人の情報を
を何かおのりかたしたい」

「あつめや新報」 - (3人)
No.1 - みんながあつめている
ことを紹介する

・ はじめてその商店街の辺り
(サービス合ではない)
にきたときの
前・岡田の会話

・ カードミラー集め

一口のこったトホリタンが道に落ちてた



なぜここに
トホリタンが
おちているか
想像した会話

前) 会話をそのまのせる
をやったこと

京都芸術センター 「シテ、アズアート」 2024.3.15
アートとビジネスのイベント - (地域とビジネス?)
のイベント.

ビジネスとかけられた あつめやさんへの依頼

前) 来れない

岡田) 前) → 魔女っぽい (と心をついた)

→ 「古い」やろうかな (前はあみくじ
や、たし)

話したときに びんにあげもちが入ってた

→ 「あげもちおもしろい」



商品じゃない手づくりのものがいい

・ 500円チケット

を来場者は買って各ブースをめぐりイベント

とよとかビジネスに
つなげたい

あつめやさんは何を
うらない - あつめる

↓
現代の人の悩みをあつめる
その悩みにぴったりの場所を
教えてください

あつめやさん

とは遠い・対極・苦手・好きじゃない
ような範囲のイベントだが、何をやるか

「あげもちを見て何のかわりに見えますか」
答えにたじて。
岡田の記憶の中のおもしろい
場所を教えてください。

(びんの中に
悩みを書いた紙を入れてもらって
(悩みは見たり見ながら))

・ このときにミヤサカさんと合流 DJをしいた。
再び

2024.3.17 梅小路

商店街のメンバーで梅小路のイベントに出た
(7月7日) がちかちかをつくって。

- ・ 内装者の素材集め (鳥井・加藤)
- ・ 前のかいたシール などが入っている、がちかちか
- ・ ハンカチ?

この辺りで前さんが抜けた(いろいろな理由)

- ・ユニットではない
- ・地域、~~な~~ たくさん、などはしばらくもういいかなとなった
- ・(前)の住み場所が遠くなった。
- ・みんなでのやりのほちちとあいてなかった(他者と活動好き)

自分たちの「やりたい」より「やってほしい」が先に来る。

みんな^①思っていたこと

→ 本当にこれをやりたかったのか? と思うようになって。

- ・「ちゃんと事業にしないと」
- ・「どうやってお金を稼ごう?」
- とかを言われるたびに、^①思っていた。
- ・「もっとこうしたらいいのでは」と言われたり。

周りの人たちに

- ① 前) がやりたい「絵を描く」などで
- 「地域、街づくり」に入っていくと面白い、責任がある、ことが続くことがずっとあった。

2024, 5

2024年のビジュアルづくりの依頼 (吉田さん経由)

→ (前) 一人で対応

(岡田) できない、とはじめから言っていた

たくさんのお機会をもらえて

うれしかった。

3人でできる活動も減っていく

岡田: (はじめから地域に興味がなかったわけではない)

それにフォーカスしたわけではない。

自分がそこにはいる、という点で。

→ 他の場所でもやりたい。

→ 六甲にも公募で出したサポート

(前) は参加せず、岡田・加藤で

加藤: 地域、六甲に住む方のくまのしほり集め

(施設(たはし)のスタッフの方と話をした)

六甲のスタッフに紹介してもらった方からの紹介、など

岡田: 別の場所でもやってみてどう思ったのか?

岡田: かわらない、おもしろい、やっていることはかわらない、「どこでもできるよ」と考えてた。

「手法」「仕組み」をつくる。

あつめる、ためにお店がある、など

またこのかたちを使えば別のところでもできる、と思う。

円山: (他のところでも)できそうと思、たときに
それをやりたい、と思いきしたか?

任職ならなども含め

岡田: 六甲を経て、疲れたな、とかもあ、たか
五セに呼ばれて今次の準備をしたり、
尾崎で展示をこなしていたり

他の大学と一緒に「あつめ」をやったり、
「あつめやさん」と呼ばれたりの
個人としての活動になっきている

いろんなものがある、たり
レシートをくれた人のことを思ったり
は おもしろい

か
やり方、進め方は
もういい ~~いい~~ 無理なくやりたい

あつめやさんのときから
話すのが上手 } しんどい
知らない人、これ } とは思っていた

言われたからや、ていたが、一度 前もいたし
解散してもいいかな
自分か解れないように
やること
がいいのかな
と思、たりはしている

や、てほしい
次はこういうの
どうか
他の2人が
やりたい
と、ど

それなら
や、てほしいかと

ほか: 難しさを感じた部分はどういふところ?

岡田: 正直なところを言うと

「ア-ト」か、なんなのかわからず、
わからずにはないか
状況によって変わっていく。
自分たちが思っていることがうまくいかなかったり
ときがある

六甲は見た目のインパクトなどが重視されたり
視覚なども重視している ところなの

前 はやめます、終わりと、たか

岡田: それも好きではないな、とも思う。

最初の「あつめやさん」と名前がついたもの
とは異なる3人での「あつめやさん」
が 終わった、た、た、

「やめます」と 前 が言うまでを得たから、た、た、
なんかわかる。

何か争っているのか
何をやって続いていたか、続いていること
なのか

つづける も はじまる も 終わり
もない。

最初に行った展示の名前が「あつめやさん」だった
その名前がキャッチーで 発表をやるから、た、た、た、
B-LABO も「鳥井くん」と一緒にやる人たちがいって
それに B-LABO という名前をつけてた、た、た、
名前だけつけて活動しなくてもいいかもと最近思っている

70前 作った

かたちを作る。かたちにならなくてもよければいいから。いいかも。と思う

かたちをつくることは何かにはばられることかもしれない
あつめやさんがあつめたからできたことあるか

ほか：加藤さんはアーク・アウトプットの役割が強いから、たのびは？

加藤：2人が言葉にしてくれない、残したくないと思うことに自分も同じく思っている
見えにくい活動を外の人に向けて知らない人わかすようにするのはおもいから、た。
(活動を) それかまた次につなぐか、たり、
(学校の授業ではできないこと) ^{実際は}
(仮定、実際はできない)

「デザイン」と区切らず
目的に合わせてやりたいたいと思っていた。
自分のやっていたこともうまく言語化できてない。
何をやりたいのか？ときかれたり。

これからのデザイン

→かたちのないものになっている

→自分は「こういうものを作る」という思いが
すべてのものに興味がある

ほか：共通する態度だからうまくいった
ということ

岡田・加藤：そうだね
(あつめやさんの)

加藤：影響を強く受けている
(制作屋での個人制作の屋台なども)

ほか：あつめやさんの屋号を誰か引継いで
た。これもいい？

岡田：それでいい
何かを集めてみてそれでいい。
(複数回には)「みんなの心にあつめやさん」
と思っても自分たち
責任を負わなくていいかな
と思った。
(3人目か)

岡田：加藤さんまたいいじゃなかったら
ちがうことになっていた。
加藤さんでよかった

ほか：デザインの人、というのよかった。

岡田：(加藤さんは)まとめてくれるし、記録して
新聞にデザインしてくれたり
授業でやる人があつた。一人じゃ無理じゃない。

